

企 画 経 済 委 員 会 委 員 協 議 会 記 録

1 会議の日時	開 会 午前 10 時 00 分 令和4年11月18日 閉 会 午前 11 時 40 分
2 会議の場所	議会西棟3階 第1会議室
3 出席者	委 員 委員長 高 殿 尚 副委員長 小 川 祐 輝 田 中 勝 士 野 村 美 穂 加 藤 大 博 中 川 裕 子 平 野 恭 子 (欠席:玉 田 和 浩)
	執 行 部 別 紙 配 席 図 の と お り
4 事務局職員	主査 水 谷 昭 之 主任 朝 熊 眞 一

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
1	SDGs に先進的に取り組む県内企業の事例について (1) 地域と企業のマッチングしたSDGs 経営 (2) 企業としてSDGs に取り組むメリットと岐阜県への提案	
2	岐阜県SDGs 未来都市計画（第2期）の素案について	
3	その他	

6 議事録（要点筆記）

○高殿尚委員長

ただいまから企画経済委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るため、開催したものである。本日は執行部のほか、現状等をご報告いただくため、参考人として株式会社長瀬土建代表取締役社長の長瀬雅彦様、株式会社艶金代表取締役社長の墨勇志様の2名の方にお越しいただいている。

それでは、早速、議題1に入るが、準備の都合上、議題1（2）の企業としてSDGsに取り組むメリットと岐阜県への提案について先にご報告をいただく。

墨様におかれては、大変ご多用のところ、お越しいただき、感謝申し上げます。ぜひ、活発な意見交換ができればと思うので、よろしく願います。

（参考人説明：墨株式会社艶金代表取締役社長）

○高殿尚委員長

ただいまの説明に対して、質問等はあるか。

質疑は、一問一答で願います。

○野村美穂委員

SDGsに取り組まれたきっかけは。また、自社ブランド商品はどこで購入できるか。

○墨参考人

他社のSDGsに関するホームページに掲載してもらったところ、評価されたことがきっかけである。商品はネットが主だが、ギフトショップでも購入できる。

○田中勝士委員

食品関連事業所から出る食品由来の残りかすである食品残さを用いた「のこり染め」のアイデアを思い付いたきっかけは。

○墨参考人

約15年前、繊維業界は海外の安価な製品が増えたことで、国内製品が縮小傾向となり、弊社の経営が厳しかった。このままでは未来はないと思い、当時、ピーナツ業者と現在の県産業技術総合センターがピーナツの渋皮を用いた染色を研究しており、その技術を取り入れることとした。

○田中勝士委員

SDGsと紐付けると世界にも通じるとの話であったが、今後の予定は。

○墨参考人

SDGsに取り組むと通常は取引のない大手企業からも声がかかるため、これからも進めていきたい。

○加藤大博委員

他社が「のこり染め」を真似してしまう心配はないか。

○墨参考人

広まることは大いに歓迎する。ただし、現実的には食品残さの調達や確保が難しく、大量生産には向いていない。こうした少量で付加価値を高める事業は、中小企業に向いていると思う。

○高殿尚委員長

質問等も尽きたので、議題1（2）を終了する。墨様には、貴重なご報告をいただいたことに改めて感謝する。

ここで、議題1（1）の準備のため、5分間休憩する。

（休憩）

○高殿尚委員長

それでは、休憩前に引き続き、委員協議会を再開する。

議題1（1）の地域と企業のマッチングしたSDGs経営についてご報告をいただく。

長瀬様におかれては、大変ご多用のところ、お越しいただき、感謝申し上げます。ぜひ、活発な意見交換ができればと思うので、よろしく願います。

（参考人説明：長瀬株式会社長瀬土建代表取締役社長）

○高殿尚委員長

ただいまの説明に対して、質問等はあるか。

質疑は、一問一答でお願いします。

○田中勝士委員

SDGsに先進的に取り組む企業として、今後、行政はどのようにSDGsに取り組んでいくとよいと思うか。

○長瀬参考人

SDGsは「目標」であって「目的」ではない。地域の実情を踏まえて、具体的な「目的」をもって施策を行い、地域の幸せにつなげていくことが大事だと思う。

○加藤大博委員

週7日間働くことが多かった職場で、週休2日制を導入したとのことだが、建設会社なので週休日に災害などの緊急時対応をしなければならないこともあると思うが、その場合はどうしているのか。

○長瀬参考人

社員が週休日に働いた場合は、平日に振り替えるようにしている。

○長尾清流の国推進部長

SDGsを推進してよかったと具体的に思うところは何か。

○長瀬参考人

SDGsの観点から、週休2日制の導入など働き方改革を進めることで、社員の賃上げなどにつながり、結果として「会社」のためだけでなく、「社員」のためにもなった。

○高殿尚委員長

質問等も尽きたので、議題1(1)を終了する。長瀬様には、貴重なご報告をいただいたことに改めて感謝する。

続いて、議題2岐阜県SDGs未来都市計画(第2期)の素案について執行部より報告をいただく。質疑については、報告終了後でお願いします。なお、本議題については、全庁的な取り組みとなるため、個々の施策に関する質疑については、この場でご答弁できないこともあり得る。その際には、改めて、別の形で、回答いただくこととする。それでは、報告をお願いします。

(執行部挨拶：長尾清流の国推進部長)

(執行部説明：浅野SDGs推進課長)

○高殿尚委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。質疑は一問一答でお願いします。

○野村美穂委員

社会面だけでなく、経済面へも「ジェンダー平等」の位置付けが必要ではないか。

○浅野SDGs推進課長

「ジェンダー平等」は、女性をはじめとする誰もが活躍できる社会に向けた取り組みであるため、社会面に記載している。一方で、経済面は、事業活動を中心に整理しているため、記載していない。

○長尾清流の国推進部長

計画上の整理として、「ジェンダー平等」を社会面に位置付けているが、実際には、社会以外の環境や経済の側面も含め、女性の活躍につながる取り組みも含んでいる。ただし、意見を踏まえ、経済面での「ジェンダー平等」の位置付けも検討させていただく。

○中川裕子委員

計画にプラネタリー・バウンダリーという言葉が出てくるが、聞き慣れない言葉であることから説明をお願いしたい。

○浅野SDGs推進課長

プラネタリー・バウンダリーとは、地球の限界という意味。人類は既に、地球1.69個分の資源を消費しており、0.69個分は前借りしている状態である。未来世代が本来は使うべき資源を使っていることを示すために、今回そのワードを使用した。

○長尾清流の国推進部長

計画策定の過程で有識者からSDGsに取り組む必要性を示すためにプラネタリー・バウンダリーの概念を入れた方が良いとの意見があったことから記載させていただいた。

○中川裕子委員

プラネタリー・バウンダリーを入れたことは、より視点が広がった意味で良いこと。ただし、聞き慣れない言葉であるので、わかりやすい解説を入れてもらいたい。

○平野恭子委員

待機児童の解消に取り組むとあるが、現段階で県には待機児童がいるのか。

○浅野SDGs推進課長

現在、県内の保育施設に待機児童はいないが、引き続き待機児童ゼロの維持に取り組む。一方、小学生の学童保育については、希望しても利用できないケースがあることから、その解消に取り組んでいく。

○野村美穂委員

パブリック・コメントの現在の件数は。また、周知の方法は。

○浅野SDGs推進課長

現在のところは数件程度。周知については、SDGs推進ネットワーク会員を中心に、メールマガジンのほか、新聞などを活用し広く募集している。

○田中勝士委員

障がい者や高齢者の取組みに対する指標はあるのか。

○浅野SDGs推進課長

障がい者や高齢者に特化した指標は設けていない。それらへの取組みに関しては、労働力人口やくらしの満足度といった指標の中で捉えることとしている。

○長尾清流の国推進部長

全ての取組みに対し指標を設けることは困難であることから、有識者会議での意見を踏まえ、現在の指標にまとめたところ。意見を踏まえ、指標の追加を再考する。

○高殿尚委員長

質疑も尽きたので、これをもって質疑を終了する。

以上で、本日の議題は終了したが、他に何か意見等はないか。

また、執行部の方、よろしいか。

(意見するものなし)

○高殿尚委員長

ご意見もないので、これをもって、本日の委員協議会を閉会する。

改めて、長瀬様、墨様におかれては、ご多用の中ご出席賜ったことに感謝申し上げます。

企画経済委員会委員協議会配席図

令和4年11月18日

第1会議室

